

# 舟山

発行者  
幸田町立南部中学校  
近藤 克幸  
第133号

## 二学期の成長と地域の絆

早いもので、二学期も半ばを過ぎました。生徒たちは、授業や行事等を通じて、着実に成長を遂げています。特に、全校生徒による「南中ソーラン」では、協力と団結力、努力と成長の姿などを、保護者の皆様に披露することができました。また、十一月十一日・十二日に行われた防犯ボランティアアパトロールでは、地域の皆様にご協力いただきました。皆様のおかげで、私たちの町はより安全な場所となっております。地域の見守り活動は、犯罪の抑止や生徒たちの安心感の向上に大きく寄与しています。これからも変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



防犯ボランティアパトロール

## 魔法のストレッチ

三年 青木 大樹

今年の学校保健委員会も三年間継続している「魔法のストレッチ」でした。私は姿勢が良くないことが多いです。教えていただいたときは直そうとするけど、時間が経つといつもの姿勢に戻ってしまいます。実際に友達と協力してストレッチをしても体が思うように動かずとても苦しかったです。それでも、今回の話の中で一番驚いたことは勉強への集中力が高まるという話です。今私たちは受験生として勉強をがんばっています。姿勢を良くすることで集中力を高められるので、役に立つと思いました。

後は日々継続することが大切であると分かりました。先生がたの話の中でも継続して行うことで姿勢も良くなると言っていました。どんなことも続けていくことで成果が出てくると思うので、粘り強く続けて良い姿勢を保っていけるようにしたいです。

学校保健委員会での様子



## 世代を越えて

二年 大竹進之助

交流会では、地域の年配のかたがたとゲートボールをしています。少し緊張しますが、皆さんが丁寧にルールを教えてくださいだったので、楽しくプレーができます。ゲートボールは、ボールを打つ角度や力加減が大切で、思ったよりも頭を使うスポーツだと感じています。休憩時間には、教えていただいた「スパーク」という技の練習をしました。最後に行った試合で、私は「スパーク」を決めて勝つことができました。ボールがゲートを通った時には、みんなで拍手をし、笑顔があふれました。

交流会活動では、地域のつながりの大切さを改めて感じました。世代を越えた温かい時間を過ごすことができ、とても良い思い出になりました。



球を打つ生徒（交流会）

## 先輩との南中ソーラン

一年 小西 藍生

南中生になり、初めて南中ソーランを披露しました。先輩のように姿勢が低くて、きれのある南中ソーランにするために、三年生に教えていただきながら練習しました。そのなかで、南部中はいいところだなと思えることがいくつもありました。一つは、三年生と交流ができることです。先輩からアドバイスをもらったり、わからないところを質問したりして困ったときに頼れる先輩が多くいます。もう一つは、全校で息を合わせて踊れることです。全校が揃うと、一体感が生まれて、とても迫力のある発表ができました。

今回の南中ソーランの披露は私にとっても、先輩との絆を深めるきっかけとなったので、これからも続けたいと思いました。



先輩に動きを教えてもらう一年生

## 不審者対応訓練を振り返って

一年 市村 実梨

私は今回の不審者対応訓練で二つのことを学ぶことができました。

一つ目は、不審者が来た時の避難の方法です。訓練では、自分たちのクラスに来ることはなかったけれど、落ち着いて指示を聞き、体育館へ避難することができました。

二つ目は、不審者の被害を受けないための方法です。いつ不審者に会うか分からないので、例えば普段から地域のかたに挨拶をすることが大切だと学びました。さらに講話の中で、自転車をきれいに並べるだけでも盗難防止になることがわかりました。

普段の生活の中で、地域のかたには自分からあまり挨拶ができていないので、これからは自分から挨拶をすることを意識していきたいです。



警察のかたの話を熱心に聞く生徒

## 介護体験で学んだこと

一年 鈴木アリア

福祉実践教室では、私は介護体験をしました。この体験をとおして、二つのことを学びました。

一つ目は、介護にはいろいろな種類があるということです。脳梗塞や認知症、麻痺など、その人の病気や症状に合わせた介護をするということがわかりました。

二つ目は配慮が大切ということです。優しく声をかけることや事前に何をするか予告することが大切だとわかりました。基本的に、「優しく、ゆっくり」を心がけるとよいと教えてもらいました。

私もいつか誰かの介護をするかもしれないし、介護をしてもらうことになるかもしれないので、今回学んだことをこれからの生活に生かしていきたいと思えます。



福祉実践教室での一コマ（1年生）

## 中学校生活最後の定期テスト

二年 渡邊 温之

今回の期末テストは、二年間の集大成となるテストで受験にも関わってきます。いつも以上にテストへの意気込みが伝わってきます。みんなの真剣さが増し、学級・学年全員で努力をして、テストに挑もうとする雰囲気をつくることができました。

私は、時間をかけるだけでなく、今の自分に何が足りないのかを考え、計画的にやっつけていこうと考えています。見通しをもつことでやる内容を整理し、効率的に進められるようにしています。もう一つは、授業でわからないことがあれば、積極的に聞いたり、友達と教え合ったりすることで自信をもってテストに挑んでいけるように勉強をしています。

この期末テストをみんなですっかり乗り越えて、これから待つ受験に学年一丸となってやり切れるようにしていきたいです。



授業に集中して取り組む3年生

## 授業で力を入れたいこと

二年 矢野 莉子

授業参観では、社会の授業を見ていただきました。私には日ごろから心がけていることが、二つあります。

一つ目は、自分の考えをきちんともつことです。社会科では、話し合う機会がたくさんあります。受け身にならずに、自分から意見を伝えられたら、その話し合いを実りあるものにできます。意見を伝えることができるかは、自分の意見をもっているかどうかにかかっていると思います。

二つ目は、発言者にできるだけ体を向けることです。自分の話を聞いてくれるかと思えば、次も発言したくなります。発言しやすいく雰囲気があれば誰かの発想を取り入れやすくなると思います。話したり聞いたりして周りの人と楽しい授業をつくっていきけるようにこれからもがんばります。



授業参観での様子（2年生）